

号 外

日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田地域版/編集: 飯田日中友好協会/会長: 清水可晴

飯田日中のニュース 2020年12月号第328号

今月12月の活動予定

今月の予定

- 1日(火) 長野県日中理事会(コロナ不安により欠席)
- 4日(金) 飯田日中理事会 喬木村福祉センター
- 13日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- 17日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ
- 27日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

飯田日中友好協会 第2回理事会を開催しました

12月4日、飯田日中友好協会では理事会を開催し、今年度後半期の事業等について審議を行い、下記のとおり決定しました。

今年度は、年度当初より新型コロナウイルスの影響を受け、様々な事業を変更や中止をせざるを得ない状況となりました。第58回定期大会も書面決議という変則的な大会となり、会員の皆様はじめ多くの関係各位のご理解ご協力に感謝申し上げます。コロナ禍での前半期でしたが、9月には飯伊中国帰国者連絡会との共催で中国帰国者共同墓地の清掃と墓参を行いました。これまでも長年続けてきた中国帰国者への支援事業の一つとして、今後も随時清掃作業などを行いながら共同墓地を大切に守っていく予定です。10月には新宿の「平和祈念展示資料館」からインターネット配信された劇団俳優座による朗読劇(根羽村から「東横林南信濃郷開拓団」へ入植した若い新任の教師の、現地での生活と敗戦時の悲惨な引揚体験)を、満蒙開拓平和記念館のスクリーンに大写して鑑賞を行いました。会員はもとより、大勢の地域の方々の参加が得られ、満蒙開拓の語り継ぎ事業として有意義なものとなりました。

長野県日中友好協会関係の事業も、やはりコロナの感染予防の観点から、そのほとんどが中止、規模縮小となっています。

後半期は、例年では長野県日中友好協会ははじめ各種団体主催の事業も数多くあります。コロナ感染の状況によりどの程度の事業が開催できるか、現在のところ不明確ですが、感染防止に細心の注意を払いながら参加協力してまいります。主な行事日程は下記のとおりです。会員の皆様には引き続きご協力をお願いします。

飯田日中友好協会《予定》

◇満蒙開拓平和記念館への協力

ピースラボによるオンライン学習会への参加協力 12/12(土)

◇理事会及び新春交流会/1/24(日)

飯田市、各種団体《予定》

◇飯田市主催中国帰国者交流会/検討中

◇飯田国際交流推進協会 小さな世界都市IIDA/検討中

長野県日中友好協会《予定》

◇日中友好新春座談会、交流会 中止決定

◇帰国者への理解を深める県民のつどい 中止決定

◇日中友好スキー交流会/2/27、28(土日)

◇日中友好都市交流会議/3月予定

飯田日中友好協会新春交流会へのお誘い

恒例の新春交流会を下記のとおり開催いたします。ぜひ大勢の会員の皆様のご参加をお待ちしています。参加を希望される方は1月20日までに下記事務局までご連絡をお願いします。今年度入会された方は是非ともご参加をお願いします。

日時 令和3年1月24日(日) 午後5時より

会場 飯田市常磐町22 割烹『千登勢』

TEL 0265-22-0251

会費 3,000円

※管内のコロナ感染拡大の状況により中止又は方法の変更をする場合がありますのでご了承ください。

(連絡先 池田(連絡先 090-4094-2084))



満蒙開拓平和記念館

満蒙開拓平和記念館では、例年のボランティア養成講座にかわり、下記のとおりオンライン講座を開催します。

12月12日(土) 午後6時~7時30分

満蒙開拓平和記念館館長 寺沢秀文

満蒙開拓の歴史から学ぶもの

~私たちが記念館をつくった理由~

かつて中国東北部に13年間だけ存在した幻の国『満洲国』。そこへ日本から開拓団として約27万人が渡って行きました。日中双方に多大な犠牲を生んだ満蒙開拓とはいったい何だったのか。元開拓団員を両親に持つ寺沢秀文館長を講師に迎え、記念館を築くこととなった背景とともに、満蒙開拓の史実を学びます。

※ オンライン開催ですので、遠くにお住まいの方でもご参加いただけます。

※参加には申し込みが必要です。

申込期限 12月10日 記念館まで



先月11月の活動日誌

8日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

19日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ

22日(日) 2・3世向日本語教室/阿智